

# 令和3年度 重点推進プログラム

いつも新しい流れがある 市川



## ■ はじめに

---

新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちが暮らす社会が抱える多くの課題をあぶりだし  
ました。

総力を挙げてこの危機を乗り越え、如何にして市民生活に安心・安全を取り戻すか。

それは、新型コロナ以前にただ戻るということを意味するものではありません。テレワーク  
などの新たな生活様式が普及し、地域で過ごす時間が長くなる中で、以前よりも豊かさを享  
受できるまちとならなければなりません。

我々が目指す「自分らしく暮らせる豊かなまち」とは、あらゆる人が社会に包摂されると  
ともに個性が尊重され、多様な社会的接触の中で健康的かつ文化的な生涯を送ることができ  
るまちだと思えます。

その実現に向け、令和3年度に取り組む重要な施策をその目的別に「健康なまちづくり」  
「環境・安全なまちづくり」「夢・活力あるまちづくり」に分類し、関連する重点事業の進  
行管理を行うものが重点推進プログラムです。

まず、「健康なまちづくり」では、健康でゆとりのある質の高い生活を営むことができる  
まちを目指します。

いつまでも健やかに過ごしたいという思いは、私たち共通の願いです。誰もが健康で生き  
生きと暮らせる地域社会の実現に向け、公衆衛生の拡充や仕事と子育ての両立支援、高齢者  
の社会参加促進、セーフティネットの整備などに取り組んでいきます。

次に、「環境・安全なまちづくり」では、地球にやさしい持続可能なまちを目指します。

地球環境問題の影響は、市民生活に密接に関連します。「環境に責任を持つまち」として  
環境への負荷軽減の起点となり、エネルギーの循環システム構築に取り組みます。また、地  
域の強靱化を見据え最適な都市基盤の整備を進めます。

最後に、「夢・活力あるまちづくり」では、夢と希望に満ちた文化的水準の高いまちを目  
指します。

新型コロナにより多大なる影響を受けた地域経済の回復に取り組みます。また、「こんな  
時だから我慢しなければ」と自粛により疲弊した心を文化芸術の力を借りて開放します。さ  
らに、未来への投資としていかなる時でも個に合った教育を受けることができる環境を整備  
します。

令和3年度は、1期目の最終年度となります。重点推進プログラムを推進することでこれ  
まで掲げてきた政策の実現と見通しをつけてまいります。

## ■ 重点推進プログラムの位置づけ

市川市総合計画「I&Iプラン21」は、「ともに築く 自然とやさしさがあふれる 文化のまち いちかわ」を将来都市像として定める基本構想を最上位に、基本構想を具現化するための施策を定めた基本計画及び施策実現のための具体的事業を定めた実施計画から構成されています。

そのうち、令和元年度に実施計画、令和2年度に基本計画が計画期間満了を迎えました。

次期計画の策定にあたっては、今後価値観が大きく変容していくことが予想される中、将来を見据え、これまでの延長に留まらず適切な施策を盛り込んでいくことが重要となります。

そこで、諸課題を多面的に検討するため、おおむね2年を見極め期間としました。そして、計画期間が満了した基本計画・実施計画と新しい総合計画をつなぐものとして重点推進プログラムを策定し、施政方針に係る重点事業等を進行管理してまいります。

また、重点推進プログラムは、自分の住むまちへの愛着と誇り（シビックプライド）の醸成も目的の一つとしており、これは、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の考えを包含するものであることから、第1期市川市まち・ひと・しごと創生総合戦略を重点推進プログラムに統合し、施策を継続・推進・発展させていくこととします。



